

兵庫県地域創生戦略

地域プロジェクト・モデルの展開



I	地域プロジェクト・モデルの趣旨	・ ・ ・ ・ ・	P1
II	地域プロジェクト・モデルの推進		
1	阪神・淡路大交流プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P1
2	地域産業を活かした若者・女性集積プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P1
3	リゾート・産業・文化を活かす「但馬ワークプレイス・プロジェクト」	・ ・ ・	P2
4	二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P3
5	令和の「御食国」プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P3
6	播磨歴史回廊プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P4
7	次世代産業を核とした地域振興プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P5
8	多自然地域一日生活圈維持プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	P6
9	地域プロジェクト・モデル事業分科会の開催	・ ・ ・ ・ ・	P6

I 地域プロジェクト・モデルの趣旨

個性豊かな五国が育んできた地域の多様性を活かし、人口が減少しても地域活力を維持できる社会をつくるため、地域の強みや個性を活かした8つの地域プロジェクト・モデルを推進する。

II 地域プロジェクト・モデルの推進

1 阪神・淡路大交流プロジェクト（阪神～神戸～淡路地域）（R3 事業費：8,000 千円）

WMGや大阪・関西万博、IR誘致、神戸のウォーターフロント開発等を契機に、交通基盤の充実や産業構造の転換により、大阪湾ベイエリアの土地利用の高度化を図る。



（1）グランドデザイン策定に向けた機運醸成（1,000 千円）

○〔新規〕大阪湾ベイエリア構想フォーラムの開催（1,000 千円）

関西全体で新たな大阪湾グランドデザインの策定に向けた機運を醸成するため、関西広域連合等との共催によるフォーラムを開催

（2）公共交通機関の整備検討（7,000 千円）

○〔新規〕大阪湾海上交通の充実に向けた実証実験の実施（3,000 千円）

万博会場から神戸空港や淡路島、尼崎市を結ぶ海上交通の実証実験

- ・実施内容：モニターによる実現可能性調査等
- ・実施回数：3回（大阪市夢洲と神戸空港、淡路島、尼崎市の間を予定）

○〔新規〕モバイルデータを用いた人流動態分析（4,000 千円）

空港・主要駅からの人流や来訪者の属性、滞在時間、交通手段等を分析

- ・実施内容：モバイルデータによる人流データの分析
戦略的データ活用委員会の開催（年4回程度）

2 地場産業を活かした若者・女性集積プロジェクト（北播磨～中播磨～西播磨等）

（R3 事業費：5,534 千円）

播州織をモデルケースとし、若手クリエイター間の連携や、新ブランドの創出、販路開拓などを支援することで、次代の地場産業を担う若者の集積・定着を促進する。また、県内の他地場産業地域へも展開する。



（1）次代の産地を担う若手クリエイター等の誘致・集積促進（4,417 千円）

○〔新規〕播州織次代のクリエイター研修（767 千円）

担い手の拡大を図るため、首都圏等の服飾専門学生等を対象とした研修を実施

○〔拡充〕地場産業魅力体験バスツアー（3,650千円）

移住希望者等を対象に、地場産業や暮らしの魅力を体感するバスツアーを実施

（2）若手クリエイター等による新たなブランド創出支援（1,117千円）

○〔新規〕産地体制強化の検討（117千円）

産元商社の設立等産地体制強化を目指した事例研究の実施

○地場産業のブランド力強化の促進（1,000千円）

産地組合を通じた若手クリエイターグループによる企画力やデザイン力の習得等を支援

3 リゾート・産業・文化を活かす「但馬ワークスペース・プロジェクト」(但馬等)

(R3 事業費：4,351千円)

但馬地域の豊かな自然環境や温泉、芸術文化、食など多彩な地域資源と、兵庫情報ハイウェイといった情報通信基盤の充実を活かし、ワーケーションオフィスの集積を図り、関係人口の拡大につなげる。



（1）ワーケーション適地兵庫のPR（1,850千円）

○〔新規〕企業へのプロモーション（1,850千円）

ビジネス誌や福利厚生サービス情報誌、パンフレットを活用したPRの実施

・ターゲット層に応じたPRの実施

経営者層（ビジネス誌紙面）、従業員層（福利厚生情報誌面）

・パンフレット：東京事務所、兵庫わくわく館（東京有楽町）、県内空港、鉄道主要駅等で配布

（2）新たな働き方を踏まえた但馬への企業誘致の推進（2,501千円）

○〔新規〕首都圏等県外企業向けモニターツアーの実施（1,501千円）

兵庫県への移転を検討する首都圏等の企業向けモニターツアーの実施

・対象企業：県内移転を検討する首都圏企業

・実施地域：2箇所

・参加人数：10名程度/1箇所

○〔新規〕但馬での新たな働き方モデルの構築（1,000千円）

テレワーク利用者等の増加への対応と地元での気運醸成のため、市町による温泉旅館や飲食店等地元事業者向け啓発イベントの開催

・実施内容：ワーケーションアドバイザー等専門家による講演、セミナー等の開催支援

4 二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト（丹波等）（R3 事業費：5,756 千円）

都市に近く、田園空間や特色ある農産物等を有する丹波地域の強みを生かし、古民家等を活用した二地域居住の展開や地域資源を活かした体験型コンテンツの提供により、交流・関係人口の更なる創出・拡大を図る。



（1）地域資源を活かした体験コンテンツの提供（1,220 千円）

○〔新規〕地域資源を活用した体験コンテンツ開発（1,220 千円）

食材、芸術文化などの地域資源を活かした体験コンテンツの開発や、ツアー商品化・流通促進を展開

- ・実施内容：観光協会等と連携した体験コンテンツ開発（モニターツアー等）、観光地の受入環境整備支援、国内外の旅行会社を活用したツアー商品化・販売促進
- ・想定例：食材を核に産地の風土を味わい生産者と交流する「食文化」滞在等

（2）移住希望者と地域のマッチング支援（4,536 千円）

○〔新規〕移住希望者と地域をつなぐ移住コーディネーターの設置（4,536 千円）

移住希望者のニーズに対応した現地案内や空き家物件の情報収集等を実施

- ・実施内容
 - ①市の移住相談窓口と連携し、移住希望者のニーズに対応した現地案内の実施（定住物件、病院・学校などの生活関連施設等）、先輩移住者の紹介
 - ②協力を得られる農家民宿やゲストハウスのリスト作成等
 - ③空き家物件の情報収集・提供

5 令和の「御食国」プロジェクト（淡路等）（R3 事業費：4,791 千円）

2025 年の万博開催時に淡路島でしか体験できない食の楽しみを提供できるよう、食のブランドイメージの確立や料理人の育成、オーベルジュなど食関連施設の整備を支援する。あわせて、食に関する人材育成機関の検討を行う。



（1）料理人、生産者、観光事業者等の食関係者による地域づくり（838 千円）

○〔新規〕あわじ食の会（仮称）の設立・運営（838 千円）

料理人、生産者、観光事業者等、淡路の食の関係者によるコンセプトを統一した食による地域づくりの実施等を行う

- 「あわじ食の会（仮称）」の設立に向けた活動を支援
- ・実施内容：ワークショップ及び料理人セミナーの実施

(2) 淡路島の新たな食の魅力の創出・発信 (3,953 千円)

○〔新規〕新あわじレシピの開発 (553 千円)

淡路島の象徴となるような新メニューを開発するとともに、試作メニュー発表コンテストを実施

○〔拡充〕新たな食材の発掘促進 (2,300 千円)

サラダ用野菜などニーズに沿った新たな作物のブランド化等

・実施内容

- ①ベジタブルアイランドの推進(栽培技術の確立、ハウス等の施設整備支援等)
- ②フルーツの島魅力アッププロジェクト(淡路島なるとオレンジ生産流通拡大、淡路島イチジクのブランド確立等)

○〔新規〕食のストーリー化によるプロモーション (1,100 千円)

食そのものにストーリーを持たせたプロモーションを実施

・実施内容：兵庫県公式オンラインショップ「ひょうご市場 (H5MANIA)」を活用したプロモーションの実施

6 播磨歴史回廊プロジェクト(播磨全域) (R3 事業費：6,800 千円)

播磨地域にある歴史・文化遺産※をストーリー化し、周遊ルートとして繋げていくことで、新たな価値の創出や地域発体験型ツーリズムの推進を図り、周遊を促進する。



※想定ストーリー：戦国山城、播磨風土記、はりま水紀行、西国三十三所、瀬戸内ネットワーク、明治のイノベーション、メタルロード等

(1) 情報通信技術を活用した誘客拡大 (3,500 千円)

○〔拡充〕播磨山城アプリの開発 (3,500 千円)

建築物が現存しない山城について、3次元CGや動画により天守や建造物を再現する山城アプリを拡充

・実施内容：CG制作：2城(白旗城(上郡町)、尼子山城(赤穂市))

(2) 体験型コンテンツの充実 (3,300 千円)

○〔新規〕地域団体等を行う体験型メニューの開発支援 (3,300 千円)

伝統文化体験や地域資源を活かした体験型メニューを実施する地域団体等に対して、メニューの立ち上げや充実を支援

7 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト（西播磨～中播磨～東播磨等）

（R3 事業費：15,633 千円）

播磨臨海部の次世代産業の基幹技術を有する企業の立地や、神戸医療産業都市への医療関連企業、研究機関等の集積といった強みを生かし、「SPring-8」、「富岳」等の先端科学技術基盤を生かした産業の高度化を推進する。あわせて、次世代産業に必要な技術人材の育成に取り組む。



（1）次世代産業の育成（12,663 千円）

- ひょうごメタルベルトを中核としたコンソーシアムの推進（7,663 千円）
県、大学、関連企業等によるコンソーシアムを構築し、中小企業向けのセミナーや技術講習会等の実施
- 医療現場における先端医療機器共同研究開発（5,000 千円）
先端医工学研究センター（姫路駅サテライトラボ）からのフィードバック情報を活用した先端医療機器等の共同研究開発
・実施内容：医療・健康・福祉関連機器の共同研究開発

【参考】 県立大学医産学連携拠点の整備
先端医工学研究センター（AMEC）の機能を移転させ、規模、研究設備を拡充したうえで、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）に隣接した医産学連携拠点を開設予定



県立はりま姫路総合医療センター教育研修棟完成予想図

（2）科学技術基盤の利用促進（3,000 千円）

- 中小企業等 MI（マテリアル・インフォマティクス）トライアル支援（500 千円）
中小企業等の放射光利用を促進するため、中小企業等による MI を活用した放射光利用の試行を支援
・支援内容：MI 活用に必要なデータの収集・生成・整理等に要する経費の支援
- 〔拡充〕 「ミニ富岳」の機能強化（2,500 千円）
「富岳」の共用開始にあわせ、FOCUS スパコンで利用頻度の高いアプリケーションソフトを「ミニ富岳」に導入し、「富岳」の利用を推進

8 多自然地域一日生活圈維持プロジェクト (多自然地域) (R3 事業費: 5,850 千円)

人口減少が進む多自然地域において、一定の生活水準と地域コミュニティ機能を確保できるよう、産官学民の連携による交流・賑わい基盤の拠点づくりや新たなビジネスモデル・サービスを生み出す。



(1) 買い物困難地域への支援 (5,850 千円)

○〔拡充〕ドローン輸送の実証実験の拡充 (559 千円)

企業・大学と連携したドローンによる物資輸送の実証実験の実施

・実施箇所: 県内2箇所

○〔新規〕ドローンによる物資輸送の普及啓発 (1,291 千円)

ドローンによる物資輸送の普及啓発を行うため、実証実験の成果発表会を実施

・実施回数: 3回

・対象: ドローン事業者、小売業、大学、行政関係者 各300人を予定

○〔新規〕買い物支援ビジネスモデルの構築 (4,000 千円)

キャッシュレス無人店舗、田舎巡回キッチンカーなど買い物困難地における課題解決ビジネスモデルの立上げに対し補助

・想定事業: キャッシュレス無人店舗、田舎巡回キッチンカー、貨客混載システム、移動販売サービス等

9 地域プロジェクト・モデル事業分科会の開催 (R3 事業費: 2,000 千円)

地域プロジェクト・モデル事業の進捗状況や成果を検証し、次年度の施策を検討する分科会をプロジェクト毎に設置

・開催数: 年2回程度

問い合わせ先 企画県民部地域創生局地域創生担当 電話 078-362-4261